

人文学部歴史学科

学位（教育）プログラム名：歴史学

歴史学では、教育理念と学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、以下のような教育課程を編成している。

1. 1年次には、総合教養科目や外国語科目の学修によって、幅広い教養を身に着けるとともに、専門課程に向かう基礎教育を行う。また歴史学の基礎知識と方法論の獲得を図るべく「史学概論」、ならびに日本史・東洋史・西洋史・考古学の各概説を設置している。
2. 1年次に少人数の演習科目である「歴史学入門演習」を設置し、資料の分析や考察、またプレゼンテーションや討論などの基礎教育の学習を行なう。
3. 2年次に、日本史・東洋史・西洋史・考古学の4専修いずれかに専門教育の分野を定め、各「原典講読」や「考古学方法論」を通じ、文字資料の読解や考古資料の分析方法を学ぶ。各「基礎演習」科目の学修では、専門的な歴史学の知識の意味内容を理解し、説明する能力を身に着ける。他方、専修共通科目や選択科目の学修によって、広く歴史を考えるための知識を習得する。
4. 3年次・4年次における各「演習」では専門的な技能と思考力をさらに深化させるとともに、自らの力で問題を提起し、分析・考察する能力を養う。また、専修共通科目の「特講」では、それぞれの専攻にとどまらない幅広い視野と深い知識を獲得する。
5. 4年次では、「卒業論文」の作成を通じて、1年次からの演習と講義を通じて学んだ問題発見能力に基づいて各自で研究課題を設定し、専門的な知識と技能を活用して解決することで、4年間の学修の到達度を測る。